

(P1より続く) 原発再稼働、輸出による技術力の維持・向上と、原発の使用済み燃料から生み出されるプルトニウム(長崎に投下された原爆の原料)は日本の将来の核武装にとって、技術的にも原料確保のためにも不可欠なのである。

青森県六ヶ所村で再処理(使用済み燃料の処理と濃縮)されたプルトニウムはウランとの混合酸化物としてMOX燃料となり、これが青森県下北半島に建設予定されている大間原発においてフルMOXとして消費されるというサイクル(現存原発の再稼働→使用済燃料再処理→大間原発建設・稼働)は、「原子力村」にとっては膨大な利益を生み出す経済的活動であるし、その技術力と製造物を新興国に輸出することは「死の商人」であろうがなかろうが、経済的には年間数兆円規模の莫大な経済活動を実現し、政治的には日本の「核武装・保有大国」への道を可能にする。

福島原発の事故の原因、現状が未だ解明されず、その収束には膨大な費用と数十年の期間を要するといわれる中、安倍晋三首相は冒頭に述べたように「原発再稼働」「原発輸出」に走り続け、更に「海外で戦争のできる国」づくりを目指している。戦後70年の節目に、私たちの日本が「本当に」曲がり角に来ていることを自覚したい。安倍首相の暴走を止めるには私達国民の「声」を具体化する以外にないことを、周りの知人、友人、親族に広めたいと思う。「声」を上げよう！ [注:筆者は「大間訴訟」弁護団のお一人です]

自由が丘ヒューマントラスト

*由来:1995年以來の市民立の学び舎づくりを、知床の自然保護運動に倣い「ヒューマントラスト」と表現、多くの人々の参加・協同を大切にしています。

■ 行事進行、生徒増加中 ■

スクールは3か月経過～日常学習に加え農業実習・外に出る科・6/22-26教育大校実習を進行中。

その中で、中3入学・中2と小学生の見学体験と賑やかです。⇒実習レポートはp4-7特集記載

7月は父母会・キャンプ・夏期講習が続きます。生徒を早期2桁規模にしたいと知恵を絞っています。

■ 各種イベント、年次集会 ■

◇教育集会、地域連帯=協同など～

各団体の総会等に参加し交流を図りました。

- ・さっぽろ子育て教育市民フェスタ:月例実行委員会にて秋の15回集会企画作り検討中/大塚。
- ・月寒九条の会;2周年例会6/28開催。冒頭、合唱サークル「木いちご」の平和(こちなんだ発表後に川上麻里江弁護士の講演。60名と今迄の最高バブル。以降は、7/11近隣団体と夏季集会と続きます。

◇普及活動、助成など

- ・相談会:月例で2回+大学生実習見学・子ども館体験会で10名以上が参加しました。この流れを大事にしつつ個別相談も受付けています。7月は10.25日。知人等ご案内下さい。
- ・札幌市未来局の昨年度分検査終了。今年の申請は7月案内。新市長となり期待もしていますが、国動向を見守る気配もありFS社含む再度要望を検討しています。又ポット基金の団体助成10万の特別支援も受けています。

◇共育の森学園:5/26理事会にて決算承認と併せ新体制となりました。理事長/間宮正幸さん・北大名誉教授(07年再建時より評議員、今季北大特任教授)理事会は田中傳右衛門・中一夫・上参郷光祐さんに吉野+2校長で構成(吉野は当分は執行継続)[道学事課・私学協会・小樽医師会等に挨拶]

◆◇(賛助)会費納入・寄金◆◇

有難うございます。(7/02付、敬称略、*寄金含、下線法人)

【札幌市】〔中央区〕金森隆司・美子。〔西区〕稲見眞佐子*。〔東区〕りんゆう観光・植田英隆。〔清田区〕川島知子。〔北区〕長沼宏。【道内】〔北広島市〕太田一徹*。〔日高町〕島田貢・夕里。

◇物販・グッズ◆ ○切手/千葉・大西さん

私達も自由が丘を応援しています!

幌村建設株式会社

本 社 北海道三石郡三石町字蓬栄126
TEL 01463-3-2031 FAX 01463-3-2033
札幌支店 北海道札幌市清田区清田7条3丁目24-5
TEL 011-886-4875 FAX 011-886-4276